

## 未来を拓く学び（協同的探究学習）を推進しています

東京大学大学院の藤村宣之教授が提唱されている「協同的探究学習」の手法を用いて、授業研究を推進しています。

「協同的探究学習」では、「わかる学力」（予測困難な時代に主体的に対応できる思考力・判断力・表現力等）の育成と主体的・対話的で深い学びにつながる授業の実現を目指しています。

同時に、今年度より一人一端末として子どもたちに配付しています chromebook も併用しながら、ICT機器を積極的に活用した授業にもチャレンジしています。

### 図画工作科の授業（2年生）です

11月16日（火）に、2年生が、『だいくのたこ8さん』のお話をもとに、各自が想像したお話の絵を描きました。



まず、お話をもとに、自分の描きたい場面の構図を各自で考えました。（個別探究Ⅰ）

次に、子どもたちは、Chromebook を使って、自分が考えた構図をカメラで写し、ミライシードの「みんなの広場」に投稿しました。みんなで「うごきがつたわる絵」のくふうについて、共有を図りました。（協同探究Ⅰ）



お互いに友だちの作品のよさを共有する際に、「Kさんのたこ8さんは、大きなハンマーを8本の足で持っていることから、大きな重たいハンマーだということがわかりました。」と発表する児童がいました。子どもたちは、いろいろと想像を膨らませながら、たこ8さんの足の動きに着目して友だちの構図のくふうをたくさん見つけることができました。

最後に、協同探究の場で友だちが考えた構図のよさを自分の構図に生かしながら、実際に作品の下描きを始めました（個別探究Ⅱ）。



## 音楽科の授業（5年生）です

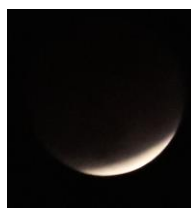
11月18日（木）の5年生の音楽科の授業の様子です。この日は、「沖縄民ようをつくろう」がめあてでした。



子どもたちは、めあてを提示する段階から、「沖縄民ようを・・・」「味わおう」や「深めよう」等、予想を立てながら授業に入りました。教師が、「・・・作ろう」と伝えると、「えーっ」という子どもたちのすごい反応があり、最初から子どもたち心をつかんだ授業になりました。意欲の高さを感じました。



## 月食を観ました



11月19日(金)夜、月が地球の影に入り、一部が欠けたように見える「部分月食」が観測されました。今回は月の直径の97.8%まで影に入り込む「限りなく皆既に近い部分月食」でした。本校職員も、午後6時頃から、運動場に出て「赤銅色の月」を鑑賞しました。

※写真は、本校職員（田中・木村・毛利）が撮影したものです。

